

# 佑啓

ゆ う け い

発 行 者

社会福祉法人 佑啓会

理事長 里見 吉英

〒290-0265

千葉県市原市今富 1110-1

TEL 0436-36-7611

FAX 0436-36-7612

編集者 広報委員会

## 謎の法人 佑啓会

入ってみました・・・

中村 秀一

ふる里学舎に入職して今年で三年になります。もともと市原市に住んで三十八年になります。この間、他市町村での仕事をしていて、市原市についてはまったく仕事のかかわりを持っていませんでした。年齢も年齢ですし、最後の仕事は地元市原市に貢献できる仕事をしたいと考えていたところ、幸いにも佑啓会が拾ってくれまして念願の地元での仕事をする事ができました。

佑啓会に来る前は、佐倉市にある社会福祉法人の職員として相談支援の仕事をしていました。そもそも、佑啓会とのかかわりは私とその仕事をはじめたころ、十一年前に遡ります。佑啓会も相談支援の仕事を行っており、そのときに市原を訪問したことがあり、飯田次長(現静風荘施設長)とはそのころお話ししたことがあります。

二度目に学舎にお邪魔したのは四年前でした。当時、十六才の少年の問題で対応に苦慮していました。その子は母子家庭で、母親に暴力を振るったり、学校に行かなかったりなどしてそのことで関

機関紙

佐 啓

第93号

二つの目は、仕事の量が多いことです。ちなみに、私が入職したとき、前職の法人と佑啓会の職員数はほぼ同じでした。しかし、施設数が佑啓会の方が前職の法人の四倍近くあったのです。つまり、佑啓会の職員は、前職の職員の四倍仕事をしているということになり



係者を集めて、何度も支援会議を開きました。結局母子分離しなさい。ということで本人を短期入所させる方向で進めることとなりましたがこれが一筋縄ではいきません。本人はまだ児童なので、児童施設が本来の入所先ですが、これほどこも一杯だめ。つぎに、大人の施設を何箇所かあたったのですが全部断られました。そこで、当時一緒に仕事をしていた元槇の実特別支援学校校長の小野先生から「ふる里はどうかしら。昔いっぱいお世話になっていたから、電話してみるね。」ということ連絡してもらい一度本人と面接して

非常にありがたかったことを憶えています。まさかその半年後に一緒に仕事をするとは、当時夢にも思っていませんでした。そして、佑啓会の職員として五井の福祉会館勤務を命ぜられ、着任しました。



佑啓会に入って驚いたことが五つあります。一つは、それまで佑啓会「ふる里学舎」についての情報をほとんど持っていないで任した。その理由として、前の職場には、いろんな法人から転職した方がいて、その人達からよその職場の情報が得られるのですが、男性の正職でふる里学舎から転職した方がほとんどいない。これは、前の職場以外でも千葉県全体でもほとんどいないと思われる。それゆえ、佑啓会はベールに包まれた法人だったので。県内の福祉の世界でも有名な話です。裏返せば、男性の正職の異動(他法人への転職)が少ないということ。それはすなわち、現職場に満足して勤務しているということになります。他法人からの異動には必ずそれなりの理由があります。一番多いのは待遇でしょう。つまり、同じ仕事をするとそれなりの給与をくれるところに行きたいというのが、転職の一番の理由だと思

二つ目は、仕事の量が多いことです。ちなみに、私が入職したとき、前職の法人と佑啓会の職員数はほぼ同じでした。しかし、施設数が佑啓会の方が前職の法人の四倍近くあったのです。つまり、佑啓会の職員は、前職の職員の四倍仕事をしているということになり

ます。しかも中身の濃い仕事を皆さんががんばってやられているのは驚きました。こちらに来て、たまに前職の職員から連絡があつて話をした際に、よく仕事の愚痴をこぼすのがいます。それには、そんな楽な職場はないぞ。ふる里学舎の職員はそんなもんじゃないぞ。と喝を入れてやりました。

三つ目は職員の礼儀正しきです。挨拶、会釈、言葉遣いなど、すべてがきちんとしていて、気持ちがいいのです。逆にこちらが教えてもらうようなことが多くありました。あとでそれがよくわかりました。佑啓会では機会を見つけて何度も「接遇」の研修を行っています。普通の法人はせいぜい入社時に一回行うのが精一杯のところ。これほどまでに徹底した職場を私は知らない。そのぐらいしないと身につかない、ということなのだろう。

四つ目は職員の親睦会、交流会の多さである。機会をみつければ職員同士で交流が行われている。アルコールが入るとお互いに本音での話し合いになり、明日の仕事についての意見交換が侃侃諤諤行われる。驚いたのは新人職員歓迎会。鴨川のホテルの大広間に二八〇名が参加しての宴。もつと驚いたのは、毎年二班に分かれて実施している一泊二日の職員旅行。初めの年は飛行機で雪の秋田、男鹿半島、二年目は新幹線で名古屋から伊勢志摩へ。



私も四十六年前の職場での経験はあるが、だんだんやらなくなつたと聞いているし、実際に職員旅行を実施している企業、職場はめずらしい昨今。親睦を兼ねた意味で実施するエネルギーがまたすごいと思いました。

最後に、この法人の人材育成についてです。どの事業所も主任とその下のチーフという二人の経験七年から二〇年ぐらいの職員が中心になって動かしています(企画、運営)その内容がすごい。事業所の人の動き(正職、契約、パート)からその施設の配置加算の計算、さらには施設の泊まりなど、その事業所が抱えるすべての仕事を一通り全部こなします。その上でほかの施設の応援までするのです。困った場合は担当課長に相談しながら仕事を進めていきます。内容をみるとほかの施設の課長以上に匹敵する仕事を主任級がこなしている。それが施設の数だけ主任、チーフがいるのです。この人たちが指導するのが担当課長です。彼らは厳しく主任を教育します。このシステムはすごいと思いました。ちよつとほかの施設では真似ができませんいほどです。

さて、そんな佑啓会ふる里学舎に入職した私は昨年までは、ふる里学舎五井で行われている、指定管理事業の市原市福祉会館と五井福祉作業所で運営される様々な事業に携わりました。私の相談支援専門員の経験を生かして、様々な相談やサービス等利用計画の作成、また、市原市福祉会館に相談に来た人の応対や、ふれあいりハビリと教室利用者の面談、障害児の放

課後等デイサービスの手伝い、療育相談に来所した方の家庭の問題の相談支援など、老体にムチ打って、しかしこの年でもまだまだバリバリと仕事をいただけることに感謝しております。



五井の若い職員も、頑張っていて二つ、三つは常に仕事を抱えています。その中のひとつは中心になって責任を持つ仕事を任されております。そこで私が何かしらのサポートが出来ればと考えています。例えば利用者の親が「私が死んだあのこと」を考えると、心配で死ねない。この子に後見人をつけてほしい」などのような要望があったとき、年の功で私が代わりに行うこととなります。また、作業所の利用者が休みがちになり、家庭訪問が必要になった場合、定期的に訪問して来所を促す場合も、同様に私の出番です。

このように昨年までの私の仕事は、職員の手の届かないところを埋める仕事が目だったような気がします。今年から五井の施設長を図らずも拝命しました。責任のある立場になりその重さをずつしりと感じます。昨年までの仕事を続けるとともに、五井の職員が気持ちよく働ける環境づくりに邁進する所存です。

(ふる里学舎五井施設長)

## 現在の心境

知脇 智子

はじめまして。今年度より仲間入りさせていただきました八千代市福祉作業所です。市内には三ヶ所の作業所があります。どうぞよろしく願います。

いつも機関紙を拝読させていただくのは楽しみです、いざ文章を書くとなると『現在の心境』は正直なところ困っています。

『八千代市手をつなぐ親の会』の運営から佑啓会の運営になり、早いもので五ヶ月が経過しました。お陰様で利用者も変わりなく、落ち着いて生活しています。

昨年度の指定管理者の公募に『親の会』も手を挙げていたのですが、落選の報に一時気落ちした保護者会でしたが、貴法人のお名前が挙がると一転「それならむしろ良かった」と安堵の表情になったことが思い起こされます。

作業所の節目といえる大変な時期に期せずして役員を担当することになり、不安と責任で重いものが多々ありましたが、今は八千代市・佑啓会職員・保護者の月1回の運営会議を通して意見交換も活発となり、利用者の将来を語ることが日々の励みになっています。

その特筆すべき運営会議は、運営状況の報告・研修報告・行事など、何より保護者からの苦情を解決まで明らかにし、細かい要望まで掬い上げて対処してくださいます。加えて、市の反応も早くなっています。

佑啓会の運営になった途端、まるで待っていたかのように車・エ

アコン・給湯器・ソファ・スリッパに至るまで修理・買い替えの連続です。今まで不自由していたこと、あれもこれも、保護者会として御礼申し上げます。また、環境整備により、老朽化の激しかった施設も見違えるような変化を遂げています。事業面においては日中一時支援事業のお話があり、今までサービスを利用せず長年に亘り子どもを見守り続けてきた保護者の間からは、平日夕方・休日の親の負担が軽減され、母親の就労も可能となることから、感謝の声が挙がっています。



利用者も平日の作業・休日の余暇活動と、メリハリのある生活になることが期待されます。

今年二月、『ふる里学舎』の見学会での里見理事長のお話や、機関紙で述べられている利用者・保護者・それを支えて下さっている職員さんへの時に厳しく温かい思いは、保護者の間では本当初めて出会った希望の持てるものでした。そして四月、『杜のホール』竣工記念パーティに参加させていただき、完成ホールの素晴らしい光景に、職員さんの洗練された接遇に驚くとともに、これは正に「ホスピタリティ」だと思いました。おもてなしの心を受け、満ち足りた幸せな気分です。これが「明るく、元気に、さわやかに、そして品よく」の佑啓会だと実感しました。どの職員さんもチーム佑啓会といった、好ましい雰囲気です。さらに佑啓会グループともいえる他の地域の保護者の皆さまの熱心な活動の様子に、心温まる交流と刺激をいただきました。

私事ですが、子どもも二十五歳にして初めて三泊四日の夏季交流合

## そよかぜに吹かれて

猪狩 宏恵

入園おめでとうございます」平成二七年四月六日(月)入園式。暖かな陽射しの中、佑啓会初の児童発達支援センターであるそよかぜキッズが新たに開園してから、半年が経とうとしています。

佑啓会で仕事を始めてから二回異動しました。ふる里学舎から静風荘へ、そしてこの四月にそよかぜキッズへ。いずれも新しい事業所への異動であり、しかもそよかぜキッズでは就学前のお子さんたちの支援に携わることになりました。新しいことへの戸惑いや不安もありましたが、新しい経験をさせて頂くことができ、ありがたく思っています。

実は、私にはもう一つ大きな不安がありました。それは都会に引っ越したことです。田舎で育った私はこんな都会に住むとは思っていません。地図も読めるし、方向音痴ではない自信があったのですが、引っ越してから半月程は、迷子になり家に帰るまで倍以上の時間がかかっていました。最近では、美味しいお店を探したり路地裏を探索したりと、それなりに都会生活を楽しんでいきます。

私事はさておき、そよかぜキッズの話をさせていただきます。どんな子どもたちにも会えるのかしら?という期待と不安を胸に、そよかぜキッズ開所メンバーは、一丸となって事前の研修や開



(八千代市第二福祉作業所保護者)

所の準備を進めてきました。玩具一つにしても、どれがいいのか悩んで選んでいました。芸術的センスがありません。私も含めたメンバー全員が作品製作や装飾を行ったり、手遊びやパネルシアターなどを覚えたりして、挑戦する気持ちで取り組んでいました。必死でしたが、保育士の資格を持つ男性職員の活躍を密かに期待していたことも事実です。

現在のそよかぜキッズは、児童発達支援センターとして家族通園が二クラス(はな組、にじ組)と単独通園が二クラス(ぞら組)、放課後等デイサービスのクラスとして二クラス(うみ組)あります。全て、自然をイメージして名前をつけました。

私は単独通園のぞら組担任となりました。今でも初日のことは鮮明に覚えています。クラス担任というワクワク感と初日の緊張感が入り混じり、とても落ち着いてなどいられません。子どもたちも初めての職員と環境では落ち着いて過ごせる訳もなく、慌ただしいうちに、あつという間に一日が過ぎてしまいました。登園後に朝の会で挨拶、予定の説明や手遊びなどを行って



ますが、最初の頃は、一人が座ると別の一人が立ち上がるという状況の繰り返しで、習が椅子に座ってくれる日は来るのだろうか。と、ちよつと暗い気持ちにもなりました。しかし、毎日クラスの担当職員たちがその日の様子を振り返り意見を申し合ひ、対応の見直しを重ねて、そら組の子どもたち一人ひとりの個性が見えるクラスをつくるよう努めてきました。これはどのクラスも同じように取り組ん

できています。まだまだ試行錯誤の状態ですが、現在では言語聴覚士、臨床心理士、理学療法士や作業療法士などの専門的立場からの指導や助言を受けながら、子どもたちにとってよりよい対応を目指しています。

あれから半年。子どもたちは、朝の会では上手に椅子に座り、元気に返事をし、手遊びをジューッと見つめています。子どもの持っている力です。週末や短い夏期休暇など、子どもたちには会えない日は寂しい気持ちになり、何をしていいかな?一連休明けは元気に登園するかな?忘れられていないかな?等々、ふと考えています。子どもたちの成長する様子を見て、やりがいを感じています。どんなに些細な成長であっても、とても嬉しい気持ちになります。

〇〇ちゃん、これができたんです!「すごい!」と嬉しさのあまり職員同士で興奮気味に話すことも多々あります。子どもたちはこれから成長するにつれて、新たな課題が出てくると思います。そのような時こそ、ご家族と協力して子どもの成長を支えていきたいと思っています。

(そよかぜキッズ支援員)

## 編集後記

暑かった夏も過ぎ去り、すっかり涼しくなってきました。秋と言えばスポーツの秋、食欲の秋...と色々な秋を思い浮かべると思いますが、私はというと、スポーツの秋です!これからスポーツ行事が目白押し!美味しい物も食べつつ秋を満喫したいです。

渡辺 祐介